

野菜花き 4月下旬巡回調査結果の概要について

【東北信】 巡回日 4月24日、27日、28日

1 トマト

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、収穫始期であった。病害虫の発生はみられなかった。
小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は、未定植であった。

2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、収穫盛期であった。病害虫の発生はみられなかった。
中野市の巡回ほ場（露地栽培）は、未定植であった。

3 いちご

南牧村の巡回ほ場では、開花始期であった。病害虫の発生はみられなかった。

4 キャベツ

小諸市、南牧村、長野市の巡回ほ場は、定植直後であった。病害虫の発生はみられなかった。
軽井沢町の巡回ほ場は、生育期であった。病害虫の発生はみられなかった。

5 ブロッコリー

御代田町の巡回ほ場は、生育期であった。病害虫の発生はみられなかった。
南牧村の巡回ほ場は、未定植であった。

6 はくさい

小諸市の巡回ほ場は、生育期（結球直前）であった。病害虫の発生はみられなかった。
小海町、南牧村の巡回ほ場は、生育期（8～10葉期）であった。病害虫の発生はみられなかった。
上田市の巡回ほ場は、未定植であった。

7 レタス

上田市、御代田町、南牧村の巡回ほ場は生育期（5～6葉期）、小諸市巡回ほ場は結球始期であった。いずれのほ場でも、病害虫の発生はみられなかった。

8 アスパラガス

小布施町（雨除け栽培）、小諸市（露地栽培）、飯山市（露地栽培）の巡回ほ場は、収穫中であった。いずれのほ場でも、病害虫の発生はみられなかった。

9 たまねぎ

長野市の巡回ほ場は、本葉7.0～8.0葉であった。病害虫の発生はみられなかった。

10 きく

佐久穂町の巡回ほ場は、未定植であった。

【中南信】 巡回日 4月20日、21日、22日、23日

1 トマト

南箕輪村久保の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、着果中であった。
果実に灰色かび病（少発生）の発生がみられた（図1）。

松本市島立の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫始期であった。
病害虫の発生はみられなかった。



図1 トマト灰色かび病（南箕輪村）

2 きゅうり

松本市島立の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、着果中であった。
葉にうどんこ病（少発生）の発生がみられた（図2）。
高森町山吹の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、未定植であった。



図2 きゅうりうどんこ病（松本市）

3 すいか

飯島町の巡回ほ場は生育初期（トンネル被覆）、松本市の巡回ほ場は定植直後（トンネル被覆）であった。いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

4 キャベツ

塩尻市洗馬の巡回ほ場は生育期（6～7葉期）、朝日村古見の巡回ほ場は生育期（7～8葉期）であった。
いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

5 ブロッコリー

伊那市の巡回ほ場は、未定植であった。

6 はくさい

朝日村の巡回ほ場は、生育期（7～8葉期、トンネル被覆）であった。病害虫の発生はみられなかった。
木祖村の巡回ほ場は、未定植であった。

7 レタス

塩尻市洗馬の巡回ほ場は定植直後、朝日村古見の巡回ほ場は生育期であった。いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

8 セルリー

松本市の巡回ほ場（施設栽培）は生育期（葉かき後）、原村の巡回ほ場（露地栽培）は定植直後（トンネル被覆）であった。いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

9 アスパラガス

豊丘村神稲および飯島町飯島の巡回ほ場（雨除け栽培）は収穫中、松川村鼠穴の巡回ほ場（露地栽培）は萌芽始めであった。いずれのほ場も病害虫の発生はみられなかった。

10 たまねぎ

安曇野市豊科の巡回ほ場は、本葉5.5～6.0葉であった。病害虫の発生はみられなかった。

11 ねぎ

南箕輪村および山形村の巡回ほ場は、いずれも未定植であった。

12 きく

富士見町の巡回ほ場は、未定植であった。